

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	放課後デイサービスさくら child in medical care					公表日	令和7年1月28日			
					利用児童数	29人		回収数	25人	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18	6	0	1	ベッド導入後活動スペースが少し狭いように思う パーソナルスペースが確保されている	今後も引き続き安全面に気をつけ、整理整頓を心がけます		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	21	0	0	4	何名の職員がいるか不明 専門性も高く安心して預けている 看護師やその他のスタッフもたくさんおられ安心して	充実した支援を継続するために職員数を維持していきます		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	23	1	0	1	ベッド導入後、医療的ケア児が過ごしやすい環境になっている ベッドで動ける子と動けない子で分かれており、お互いの安全性が守られているように感じる	現状維持していきます		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23	1	0	1	清潔で綺麗にしている こどもがトイレトレーニング中であり清潔に保たれていると思う 入口のドアを開けるとすぐに外なので風もすぐに入り、冬は寒いように思う	今後も毎日の清掃・消毒を行い利用児が過ごしやすい空間作りを行っていきます 空調等で室温管理を徹底していきます		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	24	1	0	0	こどもの体調を考慮し支援してもらっている 身体の状態をよく把握してもらえていると思う 装具も丁寧に付けてもらっている	医療的ケアの実施やその他の要望を聞き取り、検討していきます		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23	1	0	1	支援内容と合っている	今後も引き続き、支援プログラムに沿って支援していきます		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画や放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	25	0	0	0	こどもと家族の要望を取り入れて作成されている ニーズなど聞いてもらっている	アセスメント、モニタリング、評価をしていながら、今後も計画を作成していきます		
	8	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22	0	0	3	具体的に作成されている	ガイドラインを参考にし、今後も支援内容を検討していきます		
	9	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）に沿った支援が行われていると思いますか。	24	0	0	1	支援してもらっている	引き続き、個々の障害特性を踏まえ実施していきます		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21	1	0	3	季節に合ったプログラムを工夫して取り入れてもらっている 季節に合った制作等してもらっている	季節を感じられる活動になるように今後も職員同士で話し合い、プログラムを考えていきます		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5	1	4	15		現在、交流はできていません。交流できる機会があればしていきたいと思います		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25	0	0	0	説明してもらっている	今後も丁寧な説明を心がけます		
	13	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23	2	0	0	説明してもらっている	今後もわかりやすい説明を心がけます		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	3	2	10		現在、実施できていません		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	23	2	0	0	送迎時にその日の様子を聞き、発作や体調の細かな情報を伝えてもらっている 常日頃とはいかないが、何かあるとお話はできていると思う	連絡帳やラインを使用し、デイ利用中の様子などをお伝えできるように今後も継続していきます		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	2	3	0	家族の気づいていない事にも助言してもらい、感謝している	引き続き、支援していきます		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24	1	0	0	話しやすい雰囲気を作ってもらっている	職員間で情報共有を行い、支援を継続していきます		
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	3	6	12		現在、実施できていません。機会があれば実施していきます			

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23	1	0	1	相談事も丁寧に対応してもらっている	引き続き、迅速かつ適切に対応できるように、継続していきます
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23	2	0	0	子どもの小さな意思表示も見逃さず対応してもらっている 何かあると送迎時やラインで連絡をもらっている	引き続き、利用児の様子をお伝えするなど、継続していきます
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	22	1	0	2	事業所での様子をInstagramで見ている どんな活動をしているか、Instagramで知らせてくれている	療育活動や日々の様子等をInstagramで発信しています。継続していきます
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23	0	0	2	十分注意されている	引き続き、個人情報の管理を徹底していきます
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	3	0	6	説明してもらっている	指示書に基づき、緊急時マニュアルを作成しています。面談を通じて確認を行っています
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	2	0	12		年2回の避難訓練を実施しています。職員間で情報共有できるよう努めます
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21	1	0	3	安全の確保は十分にされている	引き続き安全を確保し、支援を行います
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22	0	0	3	事故や怪我なく通所している 事故なく過ごせている。何かあってもすぐに説明いただけると思っている	事故等起こった場合には、迅速に対応していきます
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	23	1	0	1	職員さんが親切で安心している デイを嫌がっていることはない	引き続き、環境等を整えて、安心感をもてるようにしていきます
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	23	1	0	1	毎回楽しみにしている	引き続き、季節を感じられる療育等を行えるように支援していきます
	29	事業所の支援に満足していますか。	24	1	0	0	要望も取り入れてもらい大変満足している 入浴も嬉しい。活動もあり、装具もしっかり装着してもらい何より一度も怪我や事故なくみてもらっている	引き続き、満足していただけるように支援していきます

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後デイサービスさくら child in medical care		公表日		令和7年1月28日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	5	医療的ケアが必要な児に対して7床のベッドを確保しています 療育スペースに余裕を作るため棚収納等で床面積を活用できるよう工夫しています	ベッドを7床配置したことにより狭く感じること、ケアをする場所と活動場所が一緒のため時間帯等の配慮を検討していきます	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	1	医療的ケア児に対する看護師の配置は適切です	送迎等で少なく感じることもありますが、安心安全に気をつけ今後も必要な配置を継続していきます	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	1	バリアフリー化されておりベッドの位置も全体に目がいくように工夫しています	トイレへの誘導などが必要な利用児には職員が付き添い安全面には配慮していきます	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	2	業務終了後毎日床拭きを実施しており、バギーの車輪もアルコール拭きしています	今後も継続して、清掃や消毒をこまめに実施していきます	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	2	活動時にはプレイマットを敷いて環境を設定しています	カーテンでの仕切りに限られており、個室があっても良いのではないかと感じます	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	1	業務を行う上で気になる点が出てきた際には、都度職員間で話し合いを行っています	今後も職員間で連携を深め、より良い業務を行っています	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	アンケートだけでなく、面談や日々の中で頂いた意見を活かし業務改善につなげています	今後も保護者からの意向を聞き、業務改善を積極的に行います	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	意見があるとその都度検討しており、スタッフ間での意見交換は行っています 必要時にはカンファレンスを行い情報共有・意見交換しています	今後もカンファレンス等を行い、より良い業務ができるようにしていきます	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	9	外部評価を実施していません 創設2年足らずの事業所であり今後第三者による評価の機会が必要に感じます		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	1	医療ケア児コーディネーター研修の参加や呼吸器の勉強会等を実施しています	今後も研修の機会が必要であり、スキルアップにつなぐことができるように情報共有していきます	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	0	9	現在作成中です	国が示した支援内容に沿ったプログラムを作成していきます	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成しているか。	8	1	児発管を中心に医療面・療育面の双方から意見を出して作成しています	今後も継続してアセスメントを行い、今後の課題や支援内容を検討し作成していきます	
	13	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	1	医療面については看護師の意見を共有しています	医療的ケア児の利用が多い当事業所において看護師以外の職員の意見を抽出していく必要があるため、全職員で話し合いやミーティングできる場を設けられるように検討していきます	
	14	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	1	個別支援計画書はカルテに保管しています 支援内容、個人マニュアル等は書面を作成し、情報共有しています	職員が定期的に内容を確認できる工夫が必要のため、支援内容についてミーティング等行い支援計画に基づき支援を行っていきます	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	1	面談や保護者との連絡の中で、都度聞き取りを行い、フォーマルアセスメントとインフォーマルアセスメントを組み合わせ情報を集めています	今後も継続していきます	
	16	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)には、児童発達支援(放課後等デイサービス)の提供すべき支援の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	令和6年の法改正により5領域に沿った計画を立て、支援を行っています	今後もガイドラインを参考にしながら行っていきます	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	担当職員が中心となり、プログラムを検討しています	今後も活動内容の工夫を行っていきます	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	季節を感じることもできるプログラムを考えています	医療的ケア児がもっと積極的に活発に参加できるプログラムを考えその幅を広げることができるように検討していきます	

19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	9	0	ケアの時間帯が利用児によって異なるため、個別活動が主になりますが、終わりの会を実施しています	長期休暇のご利用時には集団活動と個別活動が実施できるように計画していきます
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	2	受け持ちの利用児を決めるなど事前に調整しています	始業前のミーティングなどもっと定期的にやっていけるよう計画していきます
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	2	気づいた点は改善できるように情報共有しています	送迎業務など職員の就業時間も異なるため必ず行うことは難しいですが、緊急の場合など適切に対応していきます
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	日々の様子は連絡帳に記載し、次回のご利用時に複写を取っています 家族からの連絡事項等も残しています	今後も継続していきます
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	半年に一回モニタリングを行い、評価と支援計画の見直しを行っています	今後も継続していきます
24	【放デイのみ】 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	9	0	長期休暇中は施設外での活動もっており、バギー使用の医ケア児にもその機会を増やしていきたいと考えています 日常生活支援とともに創作活動や遊び等が取り入れられるように努めています	複数組み合わせた活動プログラムを計画し、支援していきます
25	【放デイのみ】 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0	「はい」「いいえ」で答えられる質問にしたり、子どもの発達やコミュニケーション方法に合った声掛けを心掛けています	自己決定できる場面を増やしていきます
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	児発管と看護師が参加しています 会議終了後、職員間で情報共有しています	今後も継続していきます
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0	必要時には特別支援学校や訪問看護、係りつけ医に相談できるように、体制を整えています	今後も継続していきます
28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	9	現在設けていません	必要があれば機会を設けていきます
29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	9	現在機会がありません	必要があれば機会を設けていきます
30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	連絡帳に日々の様子を記載しています また送迎時に様子をお伝えするようにしています	今後も継続していきます
31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	9	現在は行っていません	必要があれば機会を設けていきます
32	【児発事業所・児発センターのみ】 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚園）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	0	9	認定こども園、幼稚園との併行利用の利用児はありますが、利用日数が短いため実施できていません	今後必要時には行っていきます
33	【児発事業所・児発センターのみ】 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	0	9	就学に移行する利用児がいなかったが、今後そのような場合には情報共有していきます	今後必要時には行っていきます
34	【児発センターのみ】 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
35	【児発センターのみ】 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。				
36	【児発センターのみ】 （自立支援）協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
37	【放デイのみ】 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0	特別支援学校の進路担当より学校行事の一覧表を送っていただいておりますが、基本的には保護者を通してお知らせしてもらっています	今後も継続していきます
38	【放デイのみ】 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	0	多機能型のため、施設内で情報共有しています その他必要なことがあれば、相談支援専門員を通して情報共有しています	今後必要があれば実施していきます
39	【放デイのみ】 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	9	これまで卒業した児は1名のみですが、提供する機会がありませんでした	必要があれば実施します

	40	【放デイのみ】(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	0	9	参加できていません	今後機会があれば参加していきます
保護者への説明等	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	見学や契約時に行っています 保護者からの質問があればその都度説明を行っています	今後も丁寧な説明を心がけて行います
	42	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	モニタリングでご家族を通して意向の確認を行っています	今後も継続していきます
	43	「児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	0	モニタリングや評価時に書類を示しながら説明同意を行っています	今後も丁寧な説明を心がけて行います
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	保護者より希望があれば面談実施や電話にて行っています	保護者が相談しやすい環境を提供していただけるよう支援していきます
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	9	現在実施できていません	機会があれば設けたいと思います
	46	こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	相談や苦情に対しては丁寧に説明、謝罪を行っています	今後も迅速に対応していきます
	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	日々の様子や療育活動の様子をインスタグラムで発信しています	今後も継続していきます
	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	インスタグラムで発信する写真等は必ず同意をもらい行っています 取り扱いには十分に留意しています	今後も十分に気をつけて管理していきます
	49	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	利用児は重度の障害があるため目線や微細な手の動き等で読み取っています 保護者には連絡帳やLINE、送迎時に口頭で伝えるようにしています	今後も継続していきます
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	9	現在実施できていません	機会があれば実施したいと思います
	51	【放デイのみ】家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	保護者からの要望があれば実施しています	今後も継続していきます
非常時等の対応	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	1	各マニュアルを作成しています マニュアルを作成するにあたり、保護者に聞き取りし説明を行っています	変更等が生じた場合には迅速に対応していきます
	53	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	1	年2回実施しています	医療物品の場所の把握など、看護師以外の職員がスムーズに準備できるように訓練を実施していく予定です
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	契約時に聞き取りし、処方箋等のコピーをいただいています 服薬状況がかわれば、処方箋のコピーをいただくようにしています	今後も継続していきます
	55	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	医療的ケアのある利用児全てに、医師の指示書を提出していただいていますので、そこで確認して対応しています	今後も継続していきます
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	1	安全に十分注意し、支援を行っています	今後も継続していきます
	57	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	1	契約時やモニタリング時に保護者に丁寧に説明することを心がけています	今後も継続していきます
	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	事案が起こった場合、迅速に対応について検討し、職員に周知できるようにしています また再発防止に繋げられるようにしています	今後も継続していきます
	59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	2	虐待防止委員会を設置し、定期的にミーティングしています	外部で開催されている研修等に積極的に参加できるよう努めていきます
	60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	1	バギーの使用、ベッドの使用があり、安全のために身体拘束の同意を家族にもらっています 計画書にも記載しています	見直しを行い、出来る限り身体拘束を行わないようにしていますが、安全のために今後も同意をいただきながら行います

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後デイサービスさくら child in medical care		
○保護者評価実施期間	令和6年11月1日		～ 令和6年12月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	令和6年12月1日		～ 令和7年1月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	経験豊富な職員が多い	医療的ケアを必要とする子どもに対して、高度な医療知識と専門技術をもつスタッフが常駐しており、個別のニーズに応じた適切な支援を実施している	ご家族との連携を大切に、必要な情報提供やサポートを行うことで、今後も安心安全に利用していただく
2	入浴支援	ご自宅では難しくなっている入浴を事業所で行うことで、ご家族の介護の負担軽減を図っている。入浴時の注意点等をご家族と共有し、病状や特性をスタッフが把握し、子どもが不安を感じないように配慮している。また安心して利用できるように言葉かけ等を行っている	入浴スケジュールの調整。入浴と入浴の間の清掃時間の短縮を図り、1人でも多くの入浴を実施できるように調整していく。入浴時間が子どもにとってリラックスできる時間にしていく
3	多様な活動	季節を感じる療育活動を通じて、遊びや学びの場を提供している。長期休暇には事業所外での活動も実施している	各子どもの病状や障害特性に応じた個別の支援を行う。一人ひとりの成長や発達に寄り添ったプログラムを実施していく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動スペースが狭い	安全に医療的ケアを受け入れるためにベッドを7床配置。そのためスペースが狭く感じる	日頃より整理整頓を心がけ、棚収納を活用し床面積を広くできるようにしていく。また活動時にはプレイマットを敷くなど環境設定していく
2	事業所の入口と活動スペースに仕切りがないため、外気温の影響を受ける	ベッドを導入したことにより、事業所入口付近にもベッドを配置することになった	空調等で室温管理を徹底していく。また子どもの病状を理解し、使用するベッドの位置を決める
3	保護者を含めた行事や保護者同士の交流の機会がない	医療的ケアが必要な子どもが多く、ケアの時間もバラバラなので、保護者を含めた行事の企画が難しい	ご家族からの要望があれば、少人数ずつでも行事を企画し、同じような経験を持つご家族同士が交流できるように検討していく